

# 決して古くならない

## 贈り物!



きっとイエス様も、小さかったころは地上の両親から贈り物をもろうのがうれしかったことだろう。君たちと同じにね。だけど、それらがいつかはこわれてしまったり、使い古されてしまうことも、わかっていただろうね。



この中に  
大工道具を入れて  
運べるんだ。

わたしも乗せて!

それなら直せるよ。  
どうやるか、教えて  
あげよう。



君にも、こういうことはあるだろう?



これって、  
直せるのかなあ。

君<sup>きみ</sup>たちをとても愛<sup>あい</sup>してるよ。だから、こわれたりしない、永遠<sup>えいえん</sup>にもつ  
贈<sup>おく</sup>り物<sup>もの</sup>を用意<sup>ようい</sup>したんだ。その贈<sup>おく</sup>り物<sup>もの</sup>とは、わたしのことだよ！



地上<sup>ちじょう</sup>に来<sup>く</sup>る前<sup>まえ</sup>、イエス様<sup>さま</sup>は お父<sup>とう</sup>さんと いっしょに、天国<sup>てんごく</sup>でとても幸<sup>しあわ</sup>せに暮<sup>く</sup>らしていた。  
だけど、イエス様<sup>さま</sup>と お父<sup>とう</sup>さんは、地上<sup>ちじょう</sup>の人々<sup>ひとびと</sup>とも その喜<sup>よろこ</sup>びを分<sup>わ</sup>かち合<sup>あ</sup>いたいと 思<sup>おも</sup>ったんだ。

それで、イエス様<sup>さま</sup>は 地上<sup>ちじょう</sup>に  
送<sup>おく</sup>られてきた。ベツレヘムの マリヤと  
ヨセフの 赤<sup>あか</sup>ちゃんとしてね。マリヤと  
ヨセフは イエス様<sup>さま</sup>の 地上<sup>ちじょう</sup>の 両<sup>りょう</sup>親<sup>しん</sup>で、  
イエス様<sup>さま</sup>が 地上<sup>ちじょう</sup>に いる間<sup>あいだ</sup>、食<sup>しょく</sup>事<sup>じ</sup>を  
食<sup>た</sup>べさせ、服<sup>ふく</sup>を 着<sup>き</sup>せ、危<sup>き</sup>険<sup>けん</sup>から 守<sup>まも</sup>り、  
大<sup>おお</sup>きくなるまで、よく めんどうを  
みただよ。

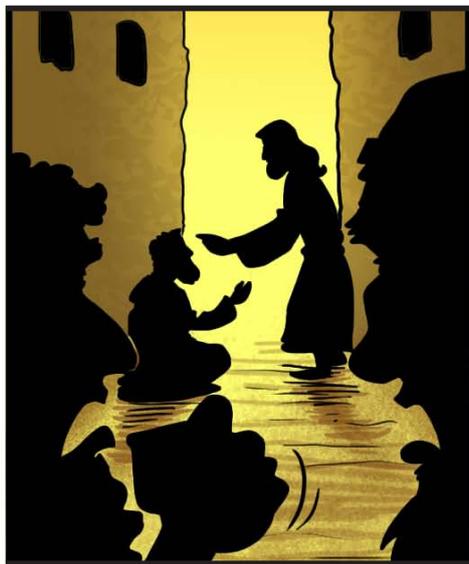
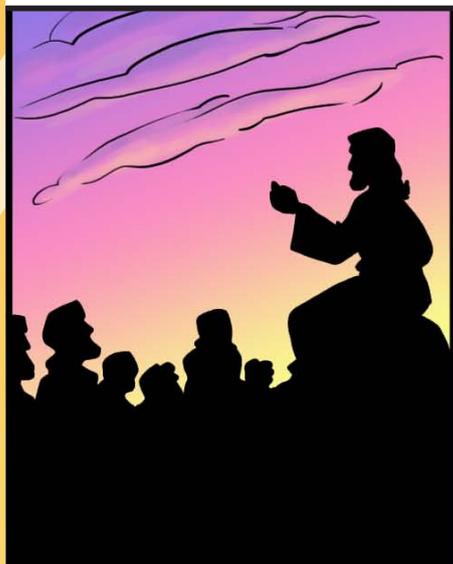


神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>を 敬<sup>うやま</sup>う 両<sup>りょう</sup>親<sup>しん</sup>として、マリヤと  
ヨセフは、イエス様<sup>さま</sup>が 聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>の 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>を  
ちやんと できるよ<sup>たし</sup>うに 確<sup>たし</sup>かめた。  
ヨセフは イエス様<sup>さま</sup>に、自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の 職<sup>しょく</sup>人<sup>にん</sup>技<sup>わざ</sup>で  
ある 大<sup>だい</sup>工<sup>く</sup>仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>も 教<sup>おし</sup>えたよ。

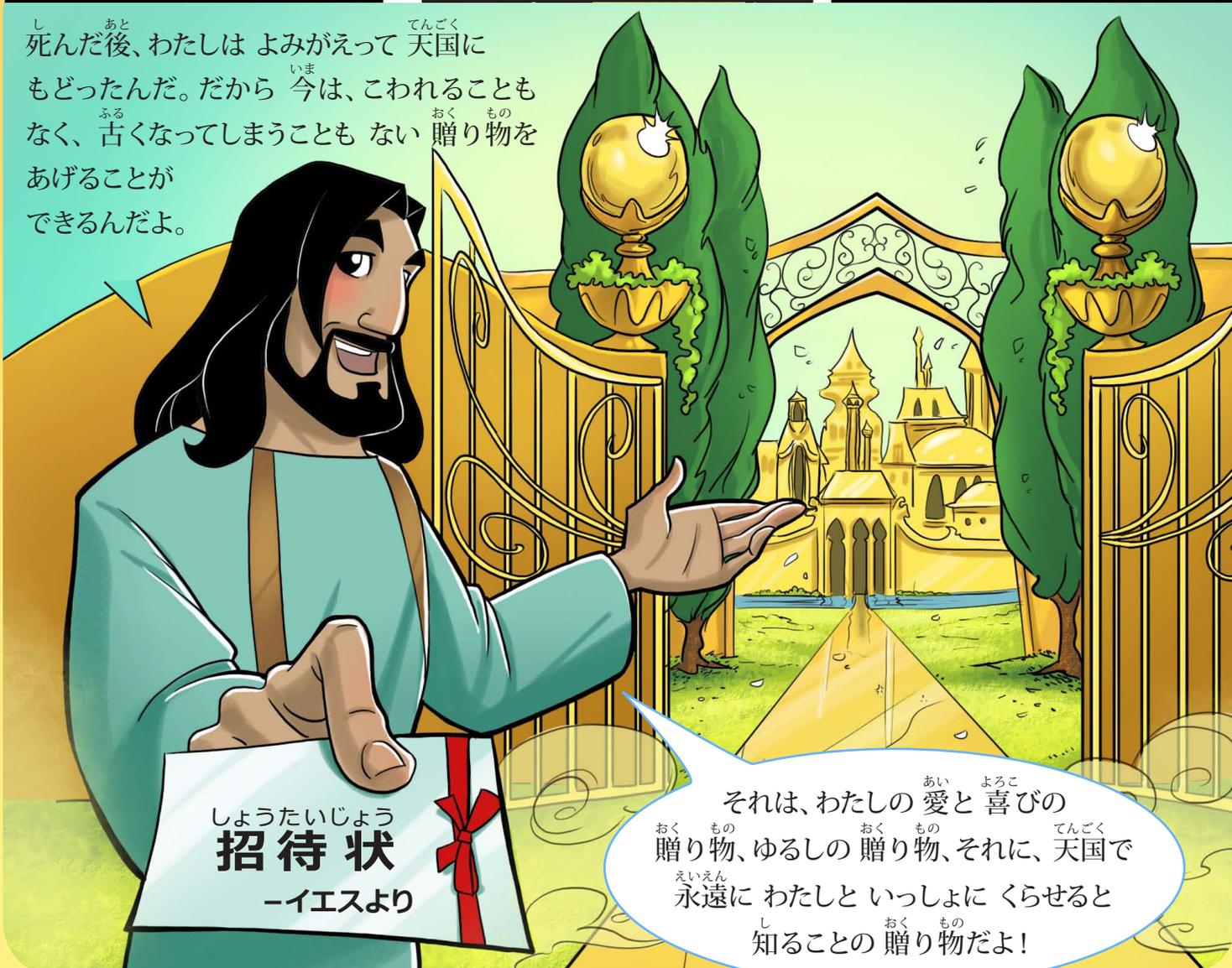


おとな 大人になってからは、イエス様は 3年間、ユダ地方（イスラエルの南部）を旅して回りながら、  
ひとびと 人々に 神様や 御言葉や 天国について 教えていたけど、イエス様を 好まず ねたむ 人もいて、  
イエス様の ことを 悪い 危険な 人間として、死刑に してしまった。だけど、イエス様には 目的が あって、  
そう させておいたんだ。

それは、君たちの 罪のための つぐないとして 死ぬためだよ。それによって、君たちも 天国の  
しあわせと 永遠の 命に あずかれるようにだ。



死んだ後、わたしは よみがえって 天国に  
もどったんだ。だから 今、こわれることも  
なく、古くなってしまふことも ない 贈り物を  
あげることが  
できるんだよ。



しょうたいじょう  
**招待状**  
-イエスより

それは、わたしの 愛と 喜びの  
贈り物、ゆるしの 贈り物、それに、天国で  
永遠に わたしと いっしょに くらせると  
知ることの 贈り物だよ！

イエス様は、ほしがる人全員のための、神様の愛の贈り物になりたくてしょうがないんだ。イエス様はみんなの人生に<sup>じんせい</sup>加わって、神の愛を<sup>かみ</sup>実感するのを<sup>あひ</sup>手伝ってくれるよ。そして、地上の人生が<sup>ちじょう</sup>終わったら、神様の美しい<sup>うつく</sup>永遠の<sup>えいえん</sup>ふるさとでいっしょに<sup>かみ</sup>くらせるように、君たちを<sup>てんごく</sup>天国に<sup>つ</sup>連れてきてくれるよ!



イエス様は、受け取ることのできる<sup>なか</sup>中でも、最高の<sup>さいこう</sup>プレゼントなんだ。それにイエス様は、こわれた<sup>こころ</sup>心をつくろい、永遠に<sup>えいえん</sup>喜びと愛を<sup>あひ</sup>与えることができるんだよ!

ただ、約束の<sup>やくそく</sup>贈り物を<sup>おく</sup>くださいとイエス様に<sup>さま</sup>頼むだけでいいんだ。そうすれば、イエス様は君の<sup>きみ</sup>人生の<sup>じんせい</sup>中に入ってきて、君への<sup>なか</sup>大きな<sup>はい</sup>愛を<sup>きみ</sup>表して<sup>おお</sup>くれるよ!

追伸：もし<sup>ついしん</sup>今年の<sup>ことし</sup>クリスマスに<sup>かみ</sup>神様から<sup>きみ</sup>君への<sup>さま</sup>プレゼントである<sup>さま</sup>イエス様を<sup>きみ</sup>君の<sup>じんせい</sup>人生に<sup>う</sup>受け入れたいなら、イエス様に<sup>さま</sup>こう<sup>い</sup>言うだけでいいんだ。「イエス様、わたしの<sup>わたし</sup>ために<sup>じぶん</sup>ご自分の<sup>いのち</sup>命を<sup>かんしゃ</sup>ささげて<sup>えいえん</sup>くださった<sup>こと</sup>ことを<sup>かんしゃ</sup>感謝<sup>えいえん</sup>します。そして<sup>えいえん</sup>永遠に<sup>あなた</sup>あなたの<sup>よろこ</sup>喜びと<sup>あひ</sup>愛の<sup>おく</sup>贈り物を<sup>かんしゃ</sup>くださる<sup>こと</sup>ことも<sup>かんしゃ</sup>感謝<sup>じんせい</sup>します。あなたを、わたしの<sup>じんせい</sup>人生の<sup>なか</sup>中に<sup>い</sup>むかえ<sup>い</sup>入れます。どうか、わたしが<sup>あひ</sup>あなたの<sup>あひ</sup>愛に<sup>み</sup>満ちた<sup>い</sup>生き方<sup>かた</sup>をもっと<sup>し</sup>知り、ほかの<sup>ひと</sup>人<sup>よろこ</sup>たちにも<sup>よろこ</sup>喜びを<sup>たす</sup>もたらす<sup>こと</sup>ことができるように、<sup>たす</sup>助けて<sup>ください</sup>ください。」